

まちの再生に向けた取り組みの全体図

令和4年10月に策定された「常磐地区市街地再生整備基本計画」では、**5つの方針に基づく「9つの取り組み」が定められました。**この再整備では「9つの取り組み」を推進し、民間と公共の空間における一体的な魅力の創出により、まちなかでの来訪者の増加や新たな民間投資の促進などに繋げ、エリア全体の価値を高めていきます。



湯本駅前緑地・御幸山公園整備事業

「9つの取り組み」のうち、5つめの「湯本駅前緑地・御幸山公園整備事業」では、湯本駅前の公共空間である湯本駅前緑地および御幸山公園について、交流拠点との連続性を意識しながら、温泉観光地の玄関口として、シンボル性の高い魅力ある空間を整備します。

御幸山公園 整備の方向性

温泉観光地の玄関口として、来園者の心をつかむシンボル性の高い空間として整備を行い、イベント開催など魅力ある敷地活用につなげることで、まちなかの集客性や回遊性を高めます。
本ワークショップを通して、皆様の意見を集め、整備内容を検討していきます。現状を踏まえ、以下にあげる5つの内容について、検討していくことが必要と考えます。



検討すべき5つの内容

- 1 回遊性のある緑地空間** 駅前に整備予定である交流拠点施設との連携し、湯本のまちなかの回遊性が高まる空間を目指す。
- 2 憩いの空間の創出** 湯本駅周辺の街並みを臨む眺望性を高めるとともに、誰もが交流できる憩いの空間を目指す。
- 3 湯本らしさを表現する景観** 温泉を感じる・際立たせる景観とするとともに、ユニバーサルデザインも配慮することで、誰でも湯本を感じることができる景観を目指す。
- 4 駅正面に臨むシンボル** 湯本のエントランス機能を高め、温泉観光地の玄関口として、来訪者の心をつかむシンボル性の高い空間を目指す。
- 5 安全で魅力ある公園空間** 来園者や地域住民が安心・安全に利用でき、湯本らしい景観など魅力のある公園を目指す。

今回対象となる範囲

